

J Aバンク埼玉における地域密着型金融の取組状況（令和6年度）

J Aバンク埼玉（埼玉県下15 J Aと埼玉県信用農業協同組合連合会（以下、「信連」という。）」では、農業と地域社会に貢献するため、2022～2024年度 J Aバンク埼玉中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

令和6年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 （J Aバンク埼玉の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク埼玉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っております。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク埼玉は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしております。

令和7年3月末時点の J Aバンク埼玉の農業関係資金残高^{（注1）}は15,152百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は9,059百万円を取り扱っております。

（注1）農業関係資金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（注2）J Aバンク埼玉が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取り扱いを行っております。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

種 類	令和7年3月末現在
農業	
穀作	3,224
野菜・園芸	4,958
果樹・樹園農業	548
工芸作物	356
養豚・肉牛・酪農	300
養鶏・鶏卵	301
養蚕	—
その他農業	3,868
農業関連団体等	1,593
合 計	15,152

（注）

1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれております。

2 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれております。なお、本残高には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

(単位：百万円)

種 類	令和 7 年 3 月末現在
プ ロ パ ー 資 金	1 2, 9 2 4
農 業 制 度 資 金	2, 2 2 7
うち 農 業 近 代 化 資 金	2, 1 5 1
うち そ の 他 制 度 資 金	7 6
合 計	1 5, 1 5 2

(注)

- 1 プロパー資金とは、J Aバンク原資の資金を融資しているもののうち、農業制度資金以外のものをいいます。なお、プロパー農業資金には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の原資資金が含まれております。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的又は間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJ Aバンク埼玉が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としております。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

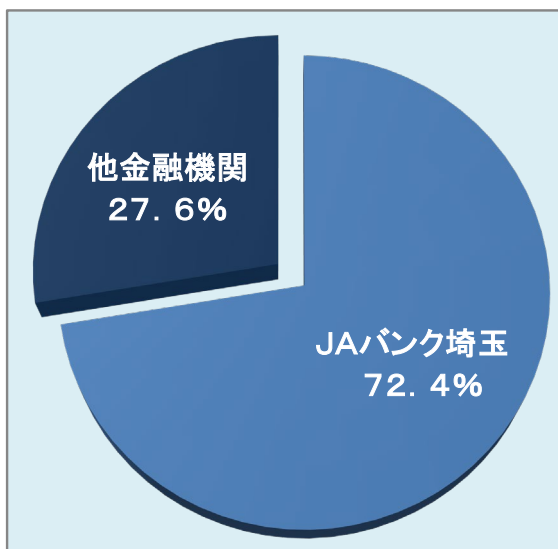
(単位：百万円)

種 類	令和 7 年 3 月末現在
日 本 政 策 金 融 公 庫 資 金	9, 0 5 9
そ の 他	—
合 計	9, 0 5 9

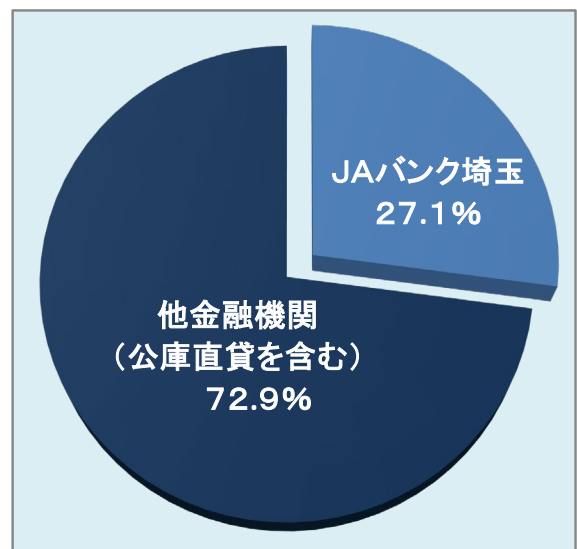
J Aバンク埼玉は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いにおいて、高いシェアを占めております。

【埼玉県の農業近代化資金及び公庫農業資金の残高シェア】

農業近代化資金
(令和 6 年 1 2 月末時点)



公庫農業資金
(令和 7 年 3 月末時点)



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク埼玉では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでおります。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しております。

信連では、J Aのサポート・指導機能、農業法人等への融資相談を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めております。

なお、こうした活動を支える体制として、県内15 J A及び信連の本店に、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を計30名配置しております（令和7年4月1日時点）。

また、農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的として、J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、県内では累計909名が取得しております（令和7年3月末時点）。

なお、J Aバンク埼玉では、信連ほか県域の各連合会が一体となり、共通機構である「担い手サポートセンター」を構築し、担い手への個別支援・事業提案等、事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでおります。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しております。

【具体的取組事例】

〈農業資金相談会の開催〉
担い手への対応力強化及び農業資金のPRのため、J A・信連・日本政策金融公庫の共催により農業資金相談会を実施しました。
〈令和6年度相談会開催実績〉
J Aさいたま：3日間、J Aあさか野：2日間、J A埼玉中央：9日間、 J Aちちぶ：2日間、J A埼玉ひびきの：12日間、J Aくまがや：4日間、 J Aふかや：2日間、J Aほくさい：2日間

(4) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援（商談会・ビジネスマッチング）

J Aバンク埼玉は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しております。

【令和6年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日程	主催者	参加団体数	商談件数 (問合せ含む)
J Aグループさいたま 農畜産物オンライン商談会 2024	令和6年10月1日 ～ 令和6年11月29日	信連 全農さいたま	46 団体	106 件

〈J Aグループさいたま農畜産物オンライン商談会2024〉

**JAグループさいたま
農畜産物オンライン商談会
2024**

10月1日(火) ▶ 11月29日(金)

オンライン個別商談会

- 第1回 10月22日(火)
- 第2回 10月24日(木)
- 第3回 11月19日(火)
- 第4回 11月21日(木)

参加無料

開催のご案内

出展者とその商品情報を
こちらのパンフレットでご紹介します。

バイヤー参加登録受付中!

<https://form.run/@jasaitama-buyerentry2024> スマートフォンからお申込みいただけます。

利用QRコード

（主催）JAバンク埼玉信連／JA全農さいたま （共催）埼玉県内JA／JA埼玉県中央会／JA共済連埼玉 （後援）埼玉県／農林中央金庫

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク埼玉は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取り組みを行っております。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク埼玉では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金などを取り扱っております。

【新規就農者をサポートする資金の取り扱い実績】

(単位：件、百万円)

種 類	令和6年度 実行件数	令和6年度 実行金額	令和7年3月末 残 高
青年等就農資金	23	175	1,379
就農支援資金	-	-	2
そ の 他	-	-	-
合 計	23	175	1,381

(2) J Aバンク埼玉講演会・セミナー等の開催

J Aバンク埼玉では、農業者等のお取引先様を招いた各種セミナーを例年開催しております。円滑な資産承継をサポートするため、財産承継セミナーや資産運用・相続セミナー等を実施し、一人ひとりのお悩みや想いを伺いながら、その解決と実現に向け丁寧なご提案を行っております。

【J A毎の講演会・セミナー開催実績（※は同時開催）】

形態	内容	主催者	延べ実績	
			開催数	参加人数
資産形成・運用 セミナー	・資産形成、運用の必要性 ・証券投資の基礎知識等	J Aあさか野	1回	80名
		J Aいるま野	2回	50名
		J Aさいかつ	1回	20名
		J A埼玉中央	1回	19名
		J Aちちぶ	1回	100名
		J A埼玉ひびきの※	1回	12名
		J Aくまがや	1回	30名
		J Aふかや	2回	50名
		小計	10回	361名
相続・遺言セミ ナー	・相続全般、生前贈与、事例 ・遺言の必要性、遺言信託等	J Aさいたま	9回	164名
		J Aいるま野	2回	75名
		J A越谷市	1回	11名
		J A南彩	1回	15名
		J Aさいかつ	4回	100名
		J A埼玉ひびきの※	1回	12名
		J Aほくさい	2回	37名
		小計	20回	414名

(3) 災害等の被害を受けた方への支援

J Aバンク埼玉では、自然災害等が発生し、農業者等の支援が必要となった場合には、災害対策窓口の設置や災害対策資金の創設、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応をしております。
(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
アグリマイティー 資金災害緊急資金	J A埼玉 ひびきの	コロナウイルスで被害を受けた農業者様を対象に最大1%の利子補給が行われる低金利での融資を実施。	7	14.0
平成26年大雪災害対策特別資金	J Aくまがや	平成26年2月14日から15日の大雪により、農産物及び農業用設備に被害を受けた組合員に対して、営農と生活に必要な資金を支援し、農業経営の安定を図ることを目的に実施。	30	57.8
農業災害資金	J Aくまがや	天災等の不慮の災害により被害を受けた農業者に対し、農業経営を維持安定させるために必要な低利の経営資金を迅速に融資し、災害の復旧と経営基盤の安定を図ることを目的に実施 (元々資金自体は存在したが、令和2年4月よりコロナでの被害も対応とした)。	3	5.0
合 計			40	76.8

(4) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク埼玉では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議等を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでおります。

【令和6年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先数)

		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再 生計画を策 定した先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b	Aのうち期 末に債務者 区分が変化 しなかった 先数 c	事業計画策 定率 = a / A	ランクアッ プ率 = b / A
正常先①		-	-		-	-	
要 注 意 先	うち						
	その他要注意先②	-	-	-	-	-	-
	うち要管理先③	-	-	-	-	-	-
破綻懸念先④		1	-	1	-	-	-
実質破綻先⑤		-	-	-	-	-	-
破綻先⑥		-	-	-	-	-	-
小計(②～⑥の計)		1	-	1	-	-	-
合計		1	-	1	-	-	-

(注) 期初経営改善支援取組先及び債務者区分は令和6年3月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク埼玉では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めております。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク埼玉では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

【令和6年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	令和6年度 実行件数	令和6年度 実行金額	令和7年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	0	0	0
畜産特別資金	0	0	0
その他	0	0	0
合計	0	0	0

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク埼玉では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っております。

(1) 食・農への理解促進

J Aバンク埼玉は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでおります。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校へ、79, 102部配布され、学校の授業等において活用されております。また、特別支援学級を扱う小学校4校及び特別支援学校4校へ119部配布いたしました（令和6年度実績）。

また、県下J Aでは、食農教育などの地域貢献活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業等による活動内容】

取組事例	J A名	内 容	取組時期
農機具展示会の開催（中古フェア及びローン相談会共催）	J Aさいたま	持続可能な農業の発展に基づくトータル生産コストの低減を図るため、地域の生産者に向けた農機展示会を定期開催。	通年
くらしの活動を通じた組織の活性化	J Aさいたま	組合員の拡大とアクティブメンバーシップの確立に基づき、くらしの活動を1支店年間1活動を目標に実施。	通年
年金友の会・共済友の会活動の活性化	J Aさいたま	組合員・利用者の多様な類型に対応したメンバーシップ強化の一環として、各種友の会活動（会員の集い・誕生日プレゼント（年金）・青壮年の集い（チャリティーゴルフ・共済））を実施。	通年
女性部・フレッシュミズ組織活動の活性化	J Aさいたま	部員数拡大・対話運動・女性活躍促進・J A運営参画等実施方策を掲げ、組織基盤の強化と活性化に向けた取組みを実施。	通年
青壮年部組織の活性化	J Aさいたま	役員との意見交換や地域間交流の実施によって、組織基盤の強化と活性化に向けた取組みを実施。	通年
連携強化による地域活性化	J Aさいたま	J Aサポーターの創設と接点強化及び健康増進活動の展開に基づき、農業体験・食農教育（出前授業・ふれあいイベント）・ミニデイサービスを開催。また、信連と連携した管内の高校での金融リテラシーに関する講義を実施。	通年
「水稻の高温障害及びイネカメムシによる農作物被害に対する農業者支援についての要望書」の提出	J Aさいたま	農政対策委員会を開催し、「水稻の高温障害及びイネカメムシによる農作物被害に対する農業者支援についての要望書」について協議し、その協議内容に基づく要望書を管内6市1町に提出。	通年

取組事例	J A名	内 容	取組時期
J Aさいたま大学の開講	J Aさいたま	協同組合の原点に立ち返り、組合員・役職員がともに共同の理念を学び協同組合の実践を通じて協同組合人意識を高め、新たな時代における協同組合価値の創造と民主的な運営に資する幅広い知見と視野を持つ協同組合運動の担い手・リーダーを育成することを目的に開設(第1期受講生27名)	通年
地域利用者へのドライブラリーの開催	J Aあさか野	組合員向けに収穫体験を通じてJ A及び農業への理解の醸成、地元農産物の地産地消を目的に『収穫体験ドライブラリー』を開催(参加者85名)。	R6. 8. 4
アンパンマン交通安全キャラバン	J Aあさか野	子育て世代の地域住民へ交通ルールを学ぶとともに、J Aへの理解の醸成を目的として、『アンパンマン交通安全キャラバン』を開催(参加者565名)。	R6. 11. 10
農機具展示会開催	J Aあさか野	農機具展示会開催時に、農業資金相談担当者による相談対応を実施(来場者103名)。	R6. 6. 22 R6. 12. 14
よみうり楽々朝市	J Aあさか野	組合及び読売新聞朝霞支部主催による朝市。地場産野菜の販売、旬の農産物の販売やイベントを実施。	R6. 7. 13 R7. 1. 19
健康教室	J Aあさか野	専門のメディカルトレーナーによる姿勢改善の基本と日常生活で役立つエクササイズを実施(来場者31名)。	R6. 7. 18
農機展示会	J A埼玉中央	組合独自開催による展示会を実施。農機等の販売の他にローン相談、共済相談、営農相談ブースを設置。	R6. 7. 20 R6. 12. 21
こども食堂農業体験	J Aふかや	こども食堂利用者12世帯36名の親子にて、ジャガイモ播種作業を行い、農業・食の大切さについての農業体験会を実施。	R7. 2. 16
融資課、営農渉外(TAC)と連携した資金調達に係る担い手支援	J A越谷市	営農渉外(TAC)による担い手ニーズの確認を図り、各種助成事業の情報提供により担い手の資金調達相談対応を推進。	通年
担い手コンサルティング	J A埼玉みずほ	信連農業部の支援のもと、管内の認定農業者(法人1件)に対し、事業及び財務の状況確認から、目指す姿、経営ビジョン等課題の認識を共有し、各種分析に基づき解決方向性やソリューション案について協議を実施。	R6. 6～8
担い手コンサルティング	信連	取引先等に対し、5件の担い手コンサルティング最終提案を実施。	通年
ドリームフェスタ	県内J A	ドリームフェスタ出展(埼玉県主催)	R6. 11. 16 R6. 11. 17

以上